

高額な外来診療を受ける患者様へ

～平成24年4月1日からの変更点～

●高額療養費制度とは

医療費の負担が重くならないよう、病院や薬局での自己負担額が、1ヶ月(月の初めから終わりまで)単位で限度額を超えた場合にその超えた額が支給される制度です。限度額は、年齢や所得によって異なります。

●「限度額適用認定証」の提示で窓口負担が軽減されます

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、入院費については「限度額適用認定証」などの提示により、窓口での支払い額を限度額内にとどめることが可能でしたが、外来診療費についてはいったん高額な診療費を窓口で支払った後に、加入する医療保険に対し高額療養費(限度額を超えた額)の支給を申請する必要がありました。しかし、平成24年4月1日からは、外来診療費についても「限度額適用認定証」の使用が可能となるため、限度額を超える診療費を窓口で支払う必要がなくなります。このため、高額な外来診療を受ける際に一度に用意しなければならない費用が軽減されます。

※「限度額適用認定証」を提示されない場合は、従来どおりの手続きとなります。

●事前の申請や、詳細については…

手続きの詳細等については、加入されている健康保険組合 全国健康保険協会 国保組合 共済組合へ、市町村国民健康保険や後期高齢者医療の方はお住まいの市町村までお問い合わせください。

外来受診のご案内

- 受付時間 初診 8:30～11:00 再診 8:30～11:30
※一部診療科では午後の受付となる場合があります
- 休診日 日曜日、祝祭日、第3土曜/創立記念日(6月10日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- 代表電話番号 043-462-8811
予約変更専用 043-462-0489(平日14時～16時)
- 健康保険証(原本)、その他の公費負担受給者証(原本)を必ずご持参下さい。
- 各科外来担当医はホームページ
<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp> をご覧ください。

お見舞いについて

- 【面会時間】
- 平日 15:00～19:00
- 土・日・祝日 11:00～19:00
(2階西病棟13:00～19:00)
- 防災センターで面会手続きの上、お見舞いカードを装着してお入り下さい。
- 時間内での面会が無理な場合は看護師にご相談下さい。
- 状況に応じ時間外面会許可証を発行いたします。

編集後記

「春」ですね。日に日に暖かくなっていく、私の一番好きな季節です。が、お彼岸を過ぎてもまだ意外と寒い!今年、12年振りに関東には春一番が吹かなかったそうです。佐倉病院の周りは緑も多く花粉も多そうですので、強い風が吹かないほうが良さそうですが、春一番がなかった…と聞くと何だか寂しく感じます。それでもよく見ると、ふっくらとした蕾や若芽が顔を出し、少しずつ春の足音が近付いてきています。皆様にはどのような春が訪れたのでしょうか…? (金山)



編集・発行：東邦大学医療センター佐倉病院 広報委員会
〒285-8741 佐倉市下志津564-1 TEL.043-462-8811(代表)
発行月：2012年4月【年4回(1・4・7・10月)発行】
URL：<http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp>

SAKURAdayori

東邦大学医療センター 佐倉病院の基本理念

- 質の高い医療を安全に提供する病院
- 地域に貢献する病院
- 人間愛を共有する病院
- 楽しく明るくチャレンジする病院
- 良き医療人を育成する病院

患者の権利

- 質の高い公正な医療が受けられます
- 個人の尊厳が守られます
- 個人のプライバシーが保障されます
- 必要な医療情報の説明が受けられます
- セカンドオピニオンが保障されています
- 医療行為について自己選択ができます

サクラの季節

副院長 寺田 一志

新年度には心が改まります。また旧年度を振り返り反省しきりです。大学の年度を9月始まりにするような動きが報じられていますが、サクラの季節に心改まる習慣は当分は変わらないと思います。佐倉病院は地域密着型の病院を自認していますが、大学病院としての側面もあります。毎年の春には初々しい学生が新たに実習に回ってきます。医学生、看護学生、薬学部生、理学部生などなど。病院の至る所で見かけると思います。もちろん春には新入職の面々もいます。彼らにも当然こころ引き締まります。しかし何と言っても、社会に出る前の学生さんたちは社会からの預かりもの、未来を支えてくれる希望、宝物です。僕らが緊張するのも分かって貰えるでしょうか。中には変な学生もいるかもしれませんが、将来を信じて、是非とも暖かい目で見て戴きたいと思います。一方の僕ら職員は、職員であると同時に教員としての側面もあります。内輪で誉めてはみっともないのかも知れませんが、看護部などの勉強熱心、研究熱心には本当に頭が下がります。担当医師の休診にお困りのこともあるかも知れませんが、ほとんどは学会参加のためと思います、どうかお許しください。私も昨年度は専門分野で最大の学会に二つ行かせて貰いました。米国では学会場近くの歩道に漢字で「在原業平」と刻まれた

プレートを見つけ驚きました。業平辞世の句が彫ってありました。「ついに行く道とはかねて聞しかどきのふけふとは思はざりしを」。死と向かい合うのは時や国を超えて難しいことなのですね。一方で欧州では学会場近くに「フランダースの犬」のネロが憧れた絵画がありました。日本人が感動するあのラストシーンも現地では負け犬の死に過ぎず人気がないそうです。さっきとは逆に、死に対する感覚は国や文化によってずいぶん違うのですね。それはともかく、佐倉からは数多くの研究成果が世界に向けて発信されています。今後とも地域の皆様が佐倉病院を支えて下さるよう心からお願い致します。



市民公開講座「带状疱疹、带状疱疹後神経痛」を終えて

皮膚科 吉田 正己



皮膚科 吉田 正己 先生

2012年3月24日に麻酔科 井出康雄先生と共に市民公開講座を担当させていただきました。多数のご参加をいただき、ありがとうございます。その時の講演内容を紹介します。

皮膚に带状疱疹が並び、強い痛みを伴う带状疱疹は高齢者に多い病気です。带状疱疹は、6人に1人が一生のうちに1回はかかります。夏季にやや多く、夏バテで体力が低下している時にできやすい病気です。つまり、「体を休めなさい」という体からの警告です。原因は、幼いころにかかった水ぼうそうのウイルスです。水ぼうそうが治ったあと、このウイルスは体内の神経細胞の中に一生住みつき、症状のない時は潜んでおり、体力が低下すると再活動を始めます。

带状疱疹では、合併症と後遺症を伴うことがあります。耳の带状疱疹では、顔面神経麻痺、めまい、難聴、味覚障害を合併することがあります。ひたいと鼻の带状疱疹では、

高率に虹彩炎、眼圧上昇、角膜炎などを伴います。そのほか、上肢の带状疱疹では腕が挙がらないなど、さまざまな障害を伴う場合があります。

带状疱疹の後遺症には神経痛があります。带状疱疹が治ったあと、皮膚の状態が元に戻っても、神経痛が一生にわたり残ってしまう場合があります。これを「带状疱疹後神経痛」と言います。皮膚で痛みを感じますが、実際は皮膚からではなく脊髄神経細胞の異常から作り出される痛みです。つまり、この痛みに対して鎮痛薬はあまり効果がなく、抗うつ薬などが効きます。しかし、誰でもが治るわけではありません。つまり、この後遺症を残さないのが大事で、そのためには発症3日以内の早期治療がもっとも重要です。治療は抗ウイルス薬を点滴、あるいは内服します。



麻酔科 井出 康雄 先生

「体を休めなさい」との警告なので、できれば1週間くらい入院して治療することをお勧めします。

2012年 市民公開講座のお知らせ (入場無料・申込不要・200席)

| 開催予定日 | 講演予定テーマ | 担当 |
|----------|-----------------------------|--------------------------|
| 5月26日(土) | <肥満> | 糖尿病・内分泌・代謝センター 栄養部 外科 |
| 6月23日(土) | <心不全> | 循環器センター |
| 7月28日(土) | 地域で考える“ケアと治療” 「脳卒中は怖くない」 | 神経内科・脳神経外科ほか |
| 9月29日(土) | がん撲滅キャンペーン | 外科ほか |

ほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした市民公開講座を企画しております。多くの方にご参加いただき、病気の予防や早期発見、普段の生活に役立てていただければと考えております。

いずれの講座も14時から当院東棟7階講堂で開催する予定です。詳細はテーマごとに院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課にご連絡下さい。

運動器低侵襲治療センター

整形外科 中川 晃一

この度、東邦大学医療センター佐倉病院 整形外科兼、運動器低侵襲治療センターの教授に就任致しました中川(写真前列左から2番目)と申します。私は平成2年に千葉大学を卒業し、同整形外科教室において膝関節外科を中心に活動した後、平成22年4月に佐倉病院へ赴任致しました。当院は若い職員が多くてやる気と活気に満ちており、診療科や部署を超えて団結力があります。このような素晴らしい環境の中で仕事ができることを、大変幸せに感じており、我々整形外科一同、地域医療に貢献すべく日夜頑張っております。

高齢化社会において、外傷(けが)、骨・関節疾患(骨と関節の病気)、脊椎・脊髄疾患(背骨と神経の病気)など運動器疾患を幅広く扱う整形外科に対するニーズは益々高まっています。その中で最先端医療を開発・提供していくことが、大学病院としての我々の使命であり、そのひとつとして低侵襲治療の追求があると考えます。その代表的なものは内視鏡手術であり、当院では平成3年の開設以来年間平均約15例程度であった内視鏡(関節鏡)による手術が、平成22年度は85例、平成23年度は127例と急増し、その症例数は現在も増加の一途をたどっております。ただし、「運動器低侵襲治療」とは、単に「小さい創で手術をすること」ではありません。できる限り手術をしないで治すように努

め(保存療法)、それに対応しきれない場合には十分術式を吟味し(適切な手術適応)、より少ない侵襲でより正常に近い状態まで治す手術を行うこと(低侵襲手術)です。私の専門の関節外科のみならず、脊椎外科などを含めた整形外科のすべての領域でそれが達成できるよう、スタッフとともに更なる努力をしていく所存です。

我々は、「心温かに、精力的に、学究心を持って、医療に貢献」することを信条に、今後も、地域医療のために、整形外科の発展のために、診療、研究、教育活動に励んで参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科スタッフ一同

“かかりつけ医”を持ちましょう～初診の事前診療予約について～

医療連携・患者支援センター 涌井 芳樹

は受け付けておりませんのでご注意ください。

かかりつけ医とは、患者さんやご家族の病気のことについて、広く継続的にみてくれるお医者さんのことです。検診や予防接種などの相談にも気軽に応じてくれますし、ご家族とともにかかりつけであれば、家族の状況や生活習慣なども把握しています。病状により入院や精密検査が必要になった場合には、東邦大学医療センター佐倉病院だけでなく、適切な病院を紹介してくれます。かかりつけ医を持ち、効率よく医療を受けましょう。

当院の一部の診療科(呼吸器内科、神経内科、糖尿病・内分泌・代謝センター、泌尿器科)では、かかりつけ医からの紹介による『初診の事前診療予約』を行っております。初めて当院を受診される際、紹介状や予約が無い場合、診察までかなりの時間お待たせすることがあります。『初診の事前診療予約』を済ませておきますと、初診時の事務手続き及び診察の待ち時間が短縮されますので、当院での受診がスムーズになります。かかりつけ医にご相談のうえ、『初診の事前診療予約』を、是非ご利用ください。

なお、予約の受付は、紹介元医療機関から直接お申込み頂いた場合に限りです。患者さんやご家族からのお申込み

